

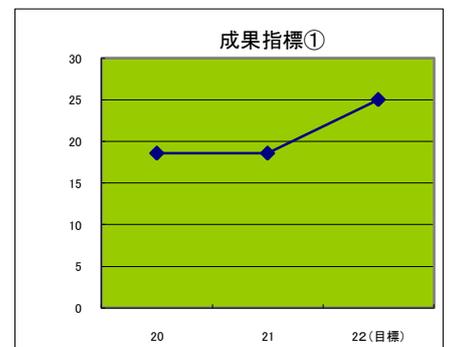
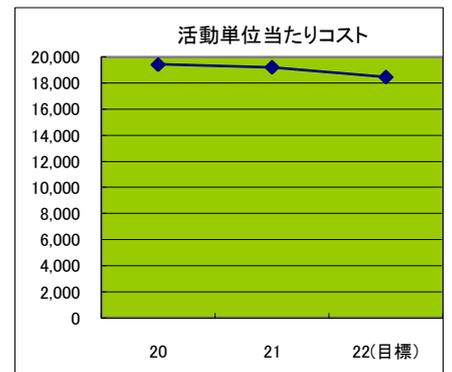
平成 22 年度 事務事業評価シート(平成 21 年度実施事業)

整理番号

保福総02

事務事業名		民生委員協議会助成事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画		まちづくりの目標(章)	2		健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	款	3	民生費
		施策(節)	2		地域福祉	項	1	社会福祉費
		施策の方向	(1)		市民による地域福祉活動の促進	目	2	社会福祉事業費
		関連する計画等	羽曳野市地域福祉計画、羽曳野市民福祉活動計画		事業	5	社会福祉対策	
				作成部署	保健福祉部福祉総務課			
対象(誰を・何を)				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 1121			
事業の目的				羽曳野市民生委員児童委員協議会 意図(どういう状態にしたいのか) 運営及び活動の活性化を図る。				
事業の内容				羽曳野市民生委員児童委員協議会の運営にかかる事業費を助成(民生委員児童委員1名あたり1万円助成) 民生委員児童委員数183名 市は事務局として、定例会の開催・府補助金等の庶務・民生委員児童委員の推薦に関わる庶務等を担当している。				
根拠法令等								
事業開始時期				<input type="checkbox"/> 昭和 元年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input checked="" type="checkbox"/> 平成 年開始 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化				平成15年度に大幅減額をしている。				
市民や議会の要望				団体からは、補助金の継続を求める意見が出ている。				
実施手法				<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()				
委託先				<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他		委託内容		

区分		20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込み)	
事業費【1】 (千円)		1,810	1,792	1,802	
人件費【2】 (千円)		1,725	1,725	1,575	
職員数	正規職員	0.23 人	0.23 人	0.21 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		3,535	3,517	3,377	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)	168	163	163	
	市債 (千円)				
	その他(手数料・使用料等) (千円)				
	一般財源 (千円)	3,367	3,354	3,214	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	20年度	21年度	22年度(目標)
① 民生委員児童委員数		人	182	183	183
② 民生委員総活動日数		日	28,158	27,968	28,000
③					
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)			19,423 円	19,219 円	18,454 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)			30 円	30 円	28 円



成果指標	指標名	単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績
①	民生委員一人当相談支援件数(式) 総相談件数÷民生委員数	件	相談件数は市民の信頼を得ていることのひとつの数値。	24	19	24	19	25	19
						達成率(%)	77.5%		
②	民生委員一人当活動日数(式) 総活動日数÷民生委員数	日	日頃の活動が、市民からの信頼を得ることにつながる。	155	155	155	153	155	153
						達成率(%)	98.6%		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
		○				○			○	有	民生委員児童委員の活動を支える協議会の運営には、助成は不可欠である。

視点	分析のためのチェック点	はい			いいえ			該当なし	分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし					
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域福祉の活性化のためには、民生委員児童委員の働きが重要であり、その基盤となる民生委員児童委員協議会の活性化は不可欠。運営のための助成金がなければ、協議会の存続にかかわる事態となる。				
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	効率よく運営されている。				
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	民生委員児童委員の福祉サービスに占める重要性は高まっている。				
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事務局は行政だが、運営(活動等)は民生委員児童委員が行っており、協働性は高い。				
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	指標数値は大きくは伸びていない。相談業務等内容の充実が大切である。				
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					

担当 部局 評価	総合評価	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	
	評価の理由 地域福祉推進における公務員と同様の権限を持つ民生委員・児童委員及び主任児童委員の果たす役割は将来的にも大きいものであるが、高齢化による後継者育成が大きな課題である。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 地域における福祉への要望が複雑かつ多様化する中で必要な組織であり、住民と行政の「つなぎ」役としての活動が期待され、民生委員自動委員協議会への助成を継続拡充する必要がある。	
行 事 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	